

ご記入した署名用紙をファクス送信したのちは、原本を保管して下さるようお願い致します。(12月議会に提出します。)

F A X用署名用紙・ご記入返信を

- ①あなたとご家族の署名で府中市で日本最初の「自然エネルギー社会をめざす都市宣言を！」
- ②一方的値上げの東電から決別して自由なエネルギー社会を
- ③太陽光パネルの導入！市の助成金の大幅アップ！市をあげて節電技術の普及で生活防衛！

2012年 月 日

府中市議会議長 殿

私たちは府中市が

“自然エネルギー社会をめざす都市宣言”

を行うよう望みます

〔陳情主旨〕

府中市は1986年に「平和都市宣言」を行いました。2011年3月11日の大規模震災に続く東京電力福島第一原発事故は「平和都市宣言」のもとで、「日々安心して暮らせる平和」と「愛する郷土を未来に引き継ぐこと」を願う私たちにあらたな課題を投げかけました。原発は完全な制御が困難で、事故は周辺地域から住民等を追い立て、その被害は広域化し、除染などの費用ははかり知れません。また放射線の遺伝子への影響は低線量でも大きな不安を呼び起こしています。私たちは子どもたちや未来に生きるものすべての視線に立ち人間生活の基礎であるエネルギーのあり方に思いを馳せ、考え直す必要があります。原発の廃炉をめざし様々な工夫を重ねて、自然エネルギー社会の建設に転換すべきです。この道のりは容易ではありませんが、市民の間の対話を大切に、省エネ技術に注目し、あらたなエネルギーによる地域と国づくりに向け一歩を踏み出すべきです。そして

核兵器の廃絶と原発の廃炉をめざし、戦争と放射能被害のない平和で安心できる社会を確実に子どもたちに伝えるために、府中市が、原発に依存しない“自然エネルギー社会をめざす都市宣言”を行うよう要望します。

以上を踏まえて、私たちは、府中市が、次の項目を実施することを求めます。

〔陳情項目〕

府中市が「自然エネルギー社会をめざす都市宣言」を行うこと

名 前	住 所

(実行委員会結成呼びかけ人) 本間慎(東京農工大学名誉教授、けやき平和コンサートの会会長、元日本環境学会会長)、井出孫六(作家)、児嶋徹(医師 府中診療所長)、澤井行雄(府中市農業委員)、千賀裕太郎(府中市景観審議会会長 東京農工大学大学院教授)、竹内章(NPO法人府中かんきょう市民の会理事長)、玉川寛治(産業考古学学会前会長)、宮本和郎(画家)、山内哲夫(全労済府中国立国分寺共済会幹事)

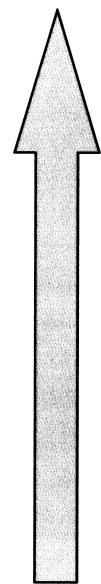
府中市に“自然エネルギー社会をめざす都市宣言”を求める署名実行委員会

実行委員長 本間 慎

連絡先 (〒183-0027 府中市本町 2-20-15-205 府中労連気付 電話 042-333-7744

Fax 042-388-1717 ホームページ <http://fuchu-sengen.jimdo.com/>)

(裏面にこの署名簿に対する賛同人が掲載されています。ご覧下さい。)



042-388-1717